

### 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
郡山市	日和田町久留米 (久留米)	平成27年2月17日	令和6年3月13日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	73.1 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	36.7 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	3.4 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	- ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	- ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.5 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

現状、地区内の農地は中心経営体による引き受け意向があるが、今後地域の高齢化が見込まれるため更なる担い手の強化が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

久留米地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者2法人が担っていくほか地域内で後継者の育成を進めていく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計	2法人	水稲 大豆 他	58.8 ha	水稲 大豆 他	63.3 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

地域の維持活性化を図るため、本プランの担い手に挙げた法人及び組合の後継者等については地域を上げて技術指導や知識の継承を図っていく。  
 稲作については、中心経営体への農地の集積・集約化を進めるとともに、農作業用の機械や施設の導入や更新の際には補助事業等を活用し経営規模の拡大と効率的な営農経営を確立する。  
 また、花き部門については、現在育苗ハウスを活用し、トルコギキョウ、ストック等の栽培をしているが、品種増加に取り組むとともに、空き期間を活用し新たな作物の栽培に取り組むことで品目の多様化と年間を通じたハウスの活用を図る。

地区内の農地所有者は原則として農地中間管理機構に貸し付けることとし、将来的には中心経営体への集積・集約を進めていく。